



# 新しいコマンドおよび変更されたコマンドに関する情報

この章では、『Cisco NX-OS Quality of Service コマンド リファレンス Release 4.0』のリリース固有の新機能、および変更された機能に関する情報を示します。このマニュアルの最新バージョンは、次のシスコ Web サイトから入手できます。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/switches/datacenter/sw/4\\_0/nx-os/security/command/reference/sec\\_cmd\\_ref.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/switches/datacenter/sw/4_0/nx-os/security/command/reference/sec_cmd_ref.html)

Cisco NX-OS Release 4.0 に関する最新情報を確認するには、次のシスコ Web サイトにアクセスして、『Cisco NX-OS Release Notes』を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/switches/datacenter/sw/4\\_0/nx-os/release/notes/401\\_nx-os\\_release\\_note.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/switches/datacenter/sw/4_0/nx-os/release/notes/401_nx-os_release_note.html)

表 1 に、『Cisco NX-OS Quality of Service コマンド リファレンス Release 4.0』の新機能および変更された機能と、それぞれの導入リリースを示します。

表 1 Release 4.0 で追加されたコマンドおよび変更されたコマンドの情報

機能	変更内容	変更されたリリース
default コマンドの ignore 変数	ignore 変数が、default コマンドでサポートされなくなりました。	4.0(2)
トンネル インターフェイス	QoS ポリシーをトンネル インターフェイスに適用できるようになりました。	4.0(3)
キューイング タイプのデフォルト ポリシー	デフォルトのキューイング ポリシーで WRR 重み係数が変更され、50/50 から 80/20 になりました。	4.0(3)

